

239号の
主な記事

- 第2回定例会概要、第1回臨時会概要 1 ページ
- 議案、請願・陳情の処理状況 2 ページ
- 代表質問、一般質問 3～6 ページ
- 委員会構成名簿 7 ページ
- 江戸川区議会会派等別議員一覧 8 ページ

令和2年第2回定例会

補正予算を含む議案28件を可決

江戸川区農業委員会委員の任命について同意

江戸川区選挙管理委員及び補充員の決定

令和2年第2回定例会は6月22日から7月7日までの16日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、GIGAスクール構想に伴う端末配備経費などを計上した補正予算を含む27件の議案、同意1件、報告6件が提出されました。

これらの議案は、いずれも原案のとおり可決されました。

この定例会の会議録は、9月中にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。



古川親水公園 (撮影: 野寺治孝)

第1回臨時会の概要

令和2年第1回臨時会は5月22日から25日までの4日間の会期で開かれました。

この議会では、任期満了に伴う常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任と、辞任による特別委員会委員の選任も行われました。

また、この議会には区長から3件の議案と1件の報告が提出され、いずれも全会一致で可決されました。

区長から提出された議案

○議案

- ・ 令和2年度江戸川区一般会計補正予算(第2号)
- ・ 令和2年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ・ 江戸川区国民健康保険条例の一部を改正する条例

○報告

- ・ 専決処分した事件の報告及び承認について
令和2年度江戸川区一般会計補正予算(第1号)

第2回定例会日程

- 6月22日..... 議案上程、委員会付託
- 24日..... 代表質問
- 25日..... 一般質問
- 26日..... 議案審査
- 29日..... 請願・陳情等の審査
- 7月7日..... 委員会報告及び表決

議案等の概要と結果 (○…賛成、×…反対)

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、江ク…区議会江戸川クラブ、共産…日本共産党、ネ立…生活者ネットワーク・立憲民主党、区民…えどがわ区民の会 無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています。

(議長を除く 計43人)

Table with columns: 件名, 概要, 自民, 公明, 江ク, 共産, ネ立, 区民, 無所属 (50音順), 賛成, 反対, 結果. Rows include 区長提出議案 (予算, 条例一部改正, 条例廃止, 同意, 契約, 報告) and 皆さんの出された請願・陳情.

皆さんから出された請願・陳情

Table with columns: 新たに受理されたもの, 付託委員会, 番号, 内容, 委員会. Rows include items like 39号 自衛隊の自然災害に対する災害対応能力の向上を求める意見書を国に提出する事に関する陳情, 40号 羽田新飛行ルートの運用をいったん中止し、ルート再検討を国及び東京都に働きかけるよう求める陳情, etc.

区政への質問

6月24日に代表質問、25日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

代表質問

災害状況確認にドローン導入を要望する。



自由民主党
中山 たかひと



問 本区の災害対策について。

①本区においても新型コロナウイルス感染者が出ている今、大型台風や大規模首都直下型地震に同時に襲われた場合、大惨事になると想定されるが、現時点でどのような対策を考えているのか。

②災害状況確認にドローンの導入と活用を要望するが、区長の考えは。

③避難所周辺に出来るだけ多くのマンホールトイレ設置を要望するが、区長の考えは。

答 ①ソーシャルディスタンスを空けた場合、避難所の収容数が減少する。現在区内にある10校の高等学校と協定を結んでおり、新たに都立施設やホテル等との協議も進めている。他自治体と災害協定を結び、広域避難も進めていきたい。地震時には、家屋の安全が確認できる場合は在宅避難を推奨し、併せて親戚や友人宅への縁故避難の案内も行う。水害時には広域避難を呼びかけ、できない場合には自宅での垂直避難または待避施設への避難を推奨する。

②ドローンの空撮は大変有効である。地域BWA協定により災害対策本部にライブ映像を配信してもらうことができる。他の民間事業者との協議も進めていき、今後更に確実なものとし実効性を高めていきたい。

③衛生に配慮した避難所用トイレは必須である。現在、改築校においては校内に5基のマンホールを必ず設置しているが、既存校についてはマンホールが道路上であり交通上・防犯上の問題もあるため、今年度から準備を行い、来年度から敷地内への災害用マンホールトイレの整備を進め、トイレ環境の向上に努める。

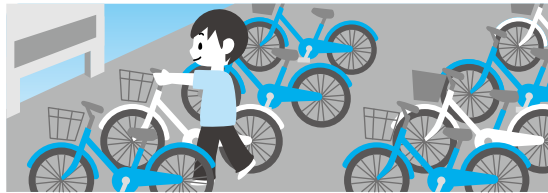
問 緊急事態宣言による自粛の影響で夫婦喧嘩や子どもへの虐待があったと聞いているが、江戸川区児童相談所の相談状況や対応、指導、職員への指揮系統などの経過状況は。

答 開設以来、多くの相談が寄せられており、迅速かつ適切な対応を行っている。LINEビデオ通話による保護者や児童との面接、児童心理司が考案した虐待予防のための動画の配信等、新たな取り組みも行っている。これからも地域に根差した本区らしい児童相談所となるよう努めていく。

問 船堀街道の東小松川1丁目バス停から京葉交差点までの都バスが集中する地域に、更に何箇所か駐輪場を設置しなければ放置自転車解消にはならない。駐輪場の設置を再度要望するが、区長の考えは。

答 昨年10月に小松川ランプ自転車置き場が設置されたことにより、その周辺の放置自転車の数は減少したが、まだ放置自転車があるのも事実である。小松川ランプ自転車置き場のPR

をしっかり行うとともに、地元の商店街とも協力しながら啓発活動を行っていく。また、コミュニティサイクルステーションの設置を進め、放置自転車を減らしたいと考えている。



駐輪場の設置について

問 新中川屋形船の汚水処理装置の移設について、今井公園整備工事が始まる前に地域住民に合意を取り付けることを要望する。

答 東京都が地元と協議のうえ、旧江戸川の堤防改修までの暫定措置として新中川にし尿回収施設を設置した。まず、堤防の改修工事をしっかり履行してもらい、その後協定通りに移設が行われるよう東京都と調整していく。

新型コロナウイルス感染症拡大後の財政運営



公明党
くぼた 龍一



問 新型コロナウイルス感染症拡大を受けての財政運営について。

①本年度を含む当面の財政状況の予測について、区長の考えは。

②今後の財政調整基金について、区長の考えは。

③歳入減少について、区長の考えは。

④公共施設の再編・整備と既に進んでいる学校改築事業について、区長の考えは。

⑤事業全般の緊急度・優先度を改めて精査し、行財政改革を積極的に進めるべきでは。

答 ①歳入は年間約180億落ち込むと見ており、非常に予断を許さない状況である。

②基金を有効に活用しながら、しっかりと事務事業を進めていきたい。

③④⑤歳入減少下においては、財政調整基金を上手く活用し、区民福祉の向上や生命・財産を守る施策を行う。また、この状況が永続的に続くとするれば、学校改築を含む全ての事業を見直さなければならないと考えている。

問 今後の新型コロナウイルス感染症対策について。

①第2波に備えた今後の相談・検査・医療提供体制について、どのように取り組むのか。

②医療現場や介護現場での感染拡大の防止と事業継続について、どのように考えているか。

③乳幼児健康診査について、区長の考えは。

答 ①医師会の全面的な協力のもと、今後も継続して国や都と協力し、体制整備を行っていきたい。

②第2波に備え、各医療機関・各介護事業者や区でも備蓄をする。院内感染・集団感染が発生した際には、医療機関・入所施設同士で応援体制が組めるよう協議を推進し覚書を締結していきたい。

③個別健診や育児・栄養相談を実施していく。

問 新型コロナウイルス感染症を受けての区立小中学校・幼稚園について。

①感染防止対策や感染者発生の際の対応・再開について、教育長の考えは。

②子どもたちの心身のケアについての考えは。

③学校や家庭での学びの保障や行事などについて、どのように考えているのか。

答 ①校長先生を中心に全力で防止策に取り組んでいる。感染者発生の際は臨時休校、校内消毒等を徹底し再開に備える。

②あらゆる手段を駆使し、子どもたちの安全・安心を守るための支援に取り組んでいく。

③学校行事の精選等による授業時間の確保と丁寧な指導を、また、学習の保障のためのICT整備等、考えられる全ての準備を進める。

問 学校再開に伴う家庭への負担軽減について。

①コロナ禍において、就学援助の対象が拡大されたが、今後の取り組みについての考えは。

②今後の情勢変化を見据えた家庭への更なる支援についての考えは。

答 ①メールやホームページ等を活用して周知徹底に努め、早急な支給につなげていく。

②更なる支援については、財政状況を勘案し状況の変化を注視していく。

問 ひとり親家庭への支援について。

①区独自の支援策を検討すべきと考えるが。

②食の支援についての考えは。

③子どもの見守りについて、これまでの対策と課題等を踏まえた今後の対策は。

答 ①「よちよち応援隊」「おとなりさんボランティア」等の支援を行っており、こういった体制を進めたい。

②休校となった際、「KODOMOごはん便」の案内を行った。また、ひとり親相談室では、子ども食堂やフードバンク等を紹介し利用を促す。

③支援対象児童の定期的な把握を行った。今後は、要保護児童対策地域協議会を各地区で開催する等、見守り体制の強化を図っていきたい。

問 3密を防ぐ避難所のあり方について。

①避難方法の選択をどのように考えるべきか。

また、避難方法の区民への周知が必要では。

②避難所の備蓄物資を再点検し、感染予防に衛生用品等の備蓄を拡充すべきでは。

答 ①地震時には安全な建物での在宅避難や縁故避難、水害時には広域避難や垂直避難または待避施設への避難を推奨していく。また、区の持つ媒体を活用し、避難方法の周知をしっかり図っていきたい。

②マスク等を新たに加えるとともに、パーティション等も視野に入れていきたい。より実践的に使えるような体制も整えていく。

問 共生社会実現に向けた本区の今後の取り組みについて、区長の考えは。

答 ビジョン策定等も視野に「誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会」の実現を目指す。

問 今後のマイナンバーカード普及に向けた取り組みについて、区長の考えは。

答 今後、区独自の活用も可能になるため、更なるカードの普及に取り組んでいきたい。

問 公共サイン看板の適正化についての考えは。

答 点検を強化するとともに、街並み景観にも配慮した対応をしていきたい。



ひとり親家庭への食の支援について

新型コロナウイルスを機に教育をどう変えるのか？



江戸川クラブ
岩田 まさかず



改正地方教育行政法が平成27年4月1日に施行され、60年振りに教育委員会制度が大きく変わった。首長の権限強化も図られたが、区長は教育行政に対し、どのようなリーダーシップを発揮していくのか。

学校運営については校長先生にお願いしているが、学校の環境整備については区としてしっかり取り組まなければいけないと思っている。子どもたちに生きる力をしっかり身に付けてもらうためにリーダーシップを発揮していきたい。

GIGAスクール構想の展望と課題。

①GIGAスクール構想によって本区の子どもの学びはどのように変わるのか。

②ICT人材の確保・育成の問題について、教育長の考えは。

①一斉授業では、動画や音声の活用により子どもたちの興味・関心の喚起や焦点化を図ることができ、個別学習では、自分に合ったペースで学習できるようになる。また、子どもたちが互いに学び合い教え合うといった効果も求められている。さらに、休校の際に自宅での学習が保障できると考えている。

②ICT人材には、子どもたちの授業支援、教員の効果的な指導の支援という2つの役割があると考えている。ICT専門家の学校配置人数を増やし、教員の支援に努めていく。



GIGAスクール構想について

新型コロナウイルス感染症により日本の公教育が大きく転換されると言われる中、本区においては教育の多様性と貧困による教育格差をどのように分析し、改善を図るのか、教育長の考えは。

子どもの将来が生まれた環境によって左右されないよう区民の声を聞き、スピード感をもって取り組んでいく。放課後補習教室などの新たな取り組みで子どもが抱える教育に関する課題を洗い出し、子どもたちが自分の未来に希望を持てるような教育環境を整えていきたい。

学校現場で起こりうる「コロナいじめ」をどのように認識し、いじめ解消に向けてどのように取り組むのか、教育長の考えは。

いじめは絶対に許されない行為である。学校再開にあたり、新型コロナウイルスによる人権侵害の防止と指導の徹底について全校に通知をした。また、相談体制を構築し、子どもたちが抱えている不安やストレスを見逃すことなく、いじめの防止、早期発見・早期対策のための指導を徹底していく。

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、本区が子どもたちを対象に実施している「出前授業」に人類と感染症の闘いの歴史を加えることを提案する。「出前授業」は日常の授業では感じることができないワクワク感や新たな気づき等、人生の1ページに残るような問題提起になると考えるが、教育長の考えは。

現在、保健分野の学習の中で感染症について取り上げ、原因や広がり方、予防方法について学んでいる。出前授業については、外部から講師を招くことが難しい状況であるため、時機を見ながら効果的な進め方を検討していきたい。

PCR検査の抜本拡充 感染防ぐ避難所拡大を



日本共産党
セバタ 勇



新型コロナウイルス対策について。

①PCR検査など検査体制の抜本的拡充について。

1)感染拡大防止と経済活動を両立させるためのあらゆる検査の拡充を。

2)ドライブスルー検査センター等の拡大を。

3)医療・介護・福祉・保育・教育等の現場で働く人に、公費で定期的にPCR検査等を。

②医療崩壊を起こさず、医療機関を守るために。

1)区内医療機関の受診抑制等の実情調査を。

2)8月から10月までの65歳以上の国保健診・長寿健診期間の延長を。

3)国や都に対し、財政的支援の要望を。

4)都立墨東病院の独立行政法人化に改めて反対を。

③くらしと営業・文化芸術を守る経済対策について。

1)国や都の支援制度の審査は事前から事後へと改め、早期に支援が届くよう要望を。

2)学校給食無償化の継続と区独自の給付金を。

④感染拡大防止と災害から区民のいのちを守るために。

1)コロナ禍のもとで地域防災計画や当面の防災対策の見直しについて。

2)避難所の感染防止対策などについて。

3)避難所の拡大や分散避難のため、ホテル・旅館、企業に避難所提供の要請を。

⑤ポストコロナについて。

1)営利と効率化を最優先する新自由主義路線の見直しが求められるが、区長の考えは。

2)財政困難が予想されるが「住民福祉の増進」という地方自治の本旨に立った区政運営を。

⑥①1)体制は拡充しており、今後も流行状況に合わせて適宜適切な検査体制を組んでいく。

2)流行状況に合わせて、検査の必要な人が速やかに検査を受けられる体制を継続していく。

3)医師が必要と認めれば公費で検査をする。

②1)医師会と定期的な情報共有を行っている。医療機関と連携を密にし、実態把握に努める。

2)コロナウイルスの影響等も含め、医師会が延長すべきとすれば、柔軟に対応する。

3)特別区長会から国への要望を出しており、今後も国や都の補助金を活用していく。

4)都議会の議決が必要であるため、詳細も含め注視していく。

③1)特別区長会を通じて、行政手続きの円滑化・簡素化について要望している。

2)財政状況を考えながら総合的な判断の中で施策を打っており、現時点では実施しないという判断である。

④1)常に災害対策の見直しを行っている。今回も見直しが必要であれば検討していく。

2)感染症対策を地道に行い、プライバシーやジェンダーにも可能な限り配慮していく。

3)協定の締結や実効性のある協議などにより受

け入れ施設の拡充を図っていく。

⑤1)本区は新自由主義等ではなく、区民第一主義で行きたいと思っている。

2)しっかり行っていきたい。



検査体制の拡充について

一般質問

新型コロナウイルス感染症対策の更なる充実を。



自由民主党
高木 ひでたか



新型コロナウイルス感染症対策について。

①個人から事業者までの幅広い方々を対象とし、具体的な支援策の相談に応じるコンシェルジュ的な機能を有したワンストップでよりきめ細やかな相談サポート体制を、現在の中小企業相談室の機能を強化する方法で、新型コロナウイルス感染症総合相談窓口を新設してはどうかと考えるが、区長の考えは。

②必ず来ると予想されている第2波が襲来する前に、人員増強等を柱とする保健所の更なる体制強化を進めてはどうかと考えるが、区長の考えは。

③第2波襲来前に、本区のPCR検査体制の更なる強化、医療従事者の感染リスク軽減、熱中症対策の観点から、従来の検査方法に加え、厚生労働省が新たに認めた唾液を使ったPCR検査の導入を検討してはどうかと考えるが、区長の考えは。

④①7月に一連の新型コロナウイルスの対応について検証したいと思っている。そのような中で今後予想される第2波に備えて区民や事業者にとってわかりやすく、区民サービスの向上につながる相談体制を研究していきたい。

②陽性患者に対する積極的疫学調査によって濃厚接触者を早期に発見し、検査を実施し、医療につなげることは重要であり、保健所体制の強化は必要であると思っている。第2波、そして新たな感染症の発生に備え、応援体制を充実させ、積極的に人材確保に努める。

③PCR検査以外にも様々な検査手法が開発されてきたことから、唾液の検査についても医師会と調整し、導入に向けて検討していく。

本区では、令和2年度の予算編成において、新規・拡充事業及び既存事業をSDGsで分類し、経営企画部にSDGs担当を設置、また国連の友Asia-Pacific・世界連邦コースフォーラムと三社連携協定を締結するなど、本年に入りSDGsの推進に精力的に取り組んでいる。今後、本区としてSDGsの更なる推進をどのような視点で実行しようと考えているのか。また、更なる推進のためには、区政の両輪である議会の役割も明記したSDGs推進計画や共生社会の理念を加えたSDGs推進条例などを策定し、区民の皆様はその方向性を示すことが必要と考えるが、区長の考えは。

SDGsの「誰一人取り残さない」という理念は、私たちが目指す「誰もが安心して自分ら

しく暮らせるまちの実現」と目標を同じくするものである。「SDGs推進＝共生社会の実現」と考え、推進センターを拠点に官民連携による取り組みを進めていく。また、本区が目指す共生社会の実現に向け、現在の長期計画に代わり2100年までを目標とした「共生社会ビジョン」、そして2030年までの具体的な施策「共生社会＝SDGsビジョン」の策定を予定している。共生社会のビジョンの策定・実現には、区議会との連携・協力が不可欠である。国際社会の要請である自治体としてのSDGsの推進に向け、区議会、執行部、そして区民の皆様が一体となった取り組みを進めていきたい。

SDGs未来都市に！ 小中学校の一人一台端末を急げ



公明党
佐々木 ゆういち



本区では「誰もが安心して暮らせる共生社会の実現」に向け、SDGsへの取り組みを進めているが、今後更なる推進についてどのように考えているのか。また、「SDGs未来都市」や「自治体SDGsモデル事業」を目指すべきと考えるが、区長の考えは。

◎ 今後、SDGs推進センターを拠点とし、区民への啓発、職員研修、区内関係団体との情報交換や連携した取り組みを実施する。将来的には全国に誇れるようなSDGs先進自治体を目指していく。また、「SDGs未来都市」の選定に向けた計画を策定しながら、区独自のモデル事業の提案も実施していく。

区立図書館に電子図書の貸出サービスを導入すべき、また、書籍消毒機を区内全図書館に拡充すべきと考えるが、区長の考えは。

◎ 今後の図書館サービスのあり方を検討していく中で、電子図書の貸出サービスについても研究していく。書籍消毒機については、引き続き計画的な導入に努める。

自転車駐車の利便性向上のための情報発信やICT活用による駐輪に関する課題解決をどのように進めていくのか。

◎ 情報発信については、「えどがわメールニュース」を活用していく。また、既に指定管理に移行している4駅では、当日利用のキャッシュレス決済なども導入している。令和3年4月から指定管理を予定している6駅については、ICTを含め、新たなサービスの提案も求めており、更なる利便性向上を考えている。

暗所視支援眼鏡をはじめとする視覚障がい者への日常生活用具の給付の追加について、区長の考えは。

◎ 性能及び要件と照らし合わせた上で、前向きに検討していきたい。

◎ 今後の図書館サービスのあり方を検討していく中で、電子図書の貸出サービスについても研究していく。書籍消毒機については、引き続き計画的な導入に努める。

自転車駐車の利便性向上のための情報発信やICT活用による駐輪に関する課題解決をどのように進めていくのか。

◎ 情報発信については、「えどがわメールニュース」を活用していく。また、既に指定管理に移行している4駅では、当日利用のキャッシュレス決済なども導入している。令和3年4月から指定管理を予定している6駅については、ICTを含め、新たなサービスの提案も求めており、更なる利便性向上を考えている。

暗所視支援眼鏡をはじめとする視覚障がい者への日常生活用具の給付の追加について、区長の考えは。

◎ 性能及び要件と照らし合わせた上で、前向きに検討していきたい。

区立くつろぎの家の今後について。

◎ ①現在より規模の大きく充実した施設とするためには、隣接する都有地を活用する必要があると考えるが、区長の考えは。

◎ ②東部地域の一大スポーツ拠点構想とともに期待される新たな区民施設については、清掃工場の建て替え完成予定である令和9年より前の整備が期待されるが、いかがか。

◎ ③新たな区民施設は障がい者スポーツ等に資する複合施設にするべきと考えるが。

◎ ①隣接する都有地の活用も視野に入れ、東篠崎一丁目都有地と合わせて考えていく。

◎ ②清掃工場やスーパー堤防の整備など他機関調整を図りながら、早期実現を目指す。

◎ ③スポーツ施設の配置や区民ニーズを俯瞰的に見ながら、検討を行っていく。

区立小中学校における「1人1台端末」の整備の推進について。

◎ ①本区における導入について、どのように進め、スケジュールについてはどう考えているのか。

◎ ②家庭学習における通信環境への支援について、どのように考えているのか。

◎ ③導入に向けた教育現場への支援について、教育委員会としてどのように考えているのか。

◎ ①文部科学省が定める標準仕様に基づいて進めていく。併せて、専門家や学校現場の声を聞きながら、スピード感を持って詳細な仕様を決定していきたい。スケジュールについては、補正予算の成立後、早期整備を目指して一層進めていく。

◎ ②通信費について、各家庭に負担が生じないような仕様にしていきたい。

◎ ③ICT支援員の活用を図りながら、児童・生徒、そして教員の活用能力向上に向け、必要な支援を行っていく。

区立小中学校において、性的指向、性自認(SOGI)に対する差別解消のため、教育委員会として、どのように取り組んでいくのか。

◎ 教職員に対し、人権教育研修会を通して人権感覚の涵養を目指している。児童・生徒に対しては、学校教育の様々な教科を通じて、幅広く人権尊重教育を行っている。また、制服のあり方については、学校・保護者・地域が話し合いを進めながら決めていきたい。名簿の取扱いについては、今後検討していく。

コロナ対策と行財政改革を求め



江戸川クラブ
ます 秀行



新型コロナウイルス感染症対策として、特別区民税の減免を実施することは財政的に可能か。また、今回の補正予算にて災害対策基金を取り崩し、財調基金を残した点に何か考えがあるのか。

◎ コロナ禍はまさに災害であるが、今後見込まれる財政不況下においても財政調整基金は事業執行のため、しっかり備えておく必要がある。現在は災害対策基金を取り崩して対応している。住民税の減税については、現行制度の中で適切に対応していきたい。

事務事業と公有財産の総点検の実施を。

◎ ①将来的に真に必要とされる施策を事務事業全体で再考すべきと考えるが、区長の見解を。

◎ ②特定法人への公共財産の無償貸与について、

見直しを。

◎ ③区が保有する全ての財産について、売却の検討も含め、今一度点検をしてみたい。

◎ ①2100年までの様々な推計等から区の全事務事業を総ざらいし、それを基に目指すべき区の姿と実現に資する施策を議会・区民の皆さんと考えていきたい。

◎ ②無償貸与というやり方については常に検証しながら進めていく。また、官庁会計の中で出てこなかった部分については、財務レポートに記載して対応している。

◎ ③適切に運用しており、今後も時代に合わせて適切に管理・運用していきたい。

新庁舎建設による区債発行は、単なる借金ではなく、資産との関連を考慮すべきでは。また、現時点で新庁舎建設計画は予定通り実行されると考えて良いのか。

◎ 建設国債は資産だと思っている。コロナ禍での厳しい財政状況だが、計画は順調に進めている。区政の重要課題として、引き続き各方面から協力を得ながら進めていく。

区の財産処分や用地買収に対し、議会が政策的な視点から関与する機会を設けるべきでは。

◎ 都市計画事業等については、議会での審議や常任委員会で意見をいただいております。今後そのようなようにしていく。

住宅条例の規制緩和は区内の資産価値を高めることにもつながり、新型コロナウイルス感染症への経済対策としても効果が期待できるが、現時点で規制内容に対する区長の考えは。

◎ 実態調査を行い、その結果を見てから改正の必要性を判断する。

第四次産業革命の新技术を区の事業に取り入れるために、区に事業導入の可能性を研究する機関を設置してはどうか。

◎ 4月に情報政策課にICTの推進係を設置した。業務改善や区民の利便性を高めるICTの研究を行っており、これを全庁に広げていきたい。また、専門性の高い民間企業や大学の研究機関とも連携していきたい。

小中学校の改築工事に伴う入札制度において、参加者数が少ないことが懸念されている。国等の取り組みも踏まえ、今後の入札制度のあり方について、区長の考えは。

◎ 制度がスタートして10年経ったということと、現在、効果の検証を進めている。

羽田空港新ルート見直しを コロナ禍から子どもを守る



日本共産党
大橋 みえ子



3月末開始の羽田空港国際線増便新ルートの見直しについて。

◎ ①新型コロナウイルス感染症の影響で減便し、国際線増便の根拠はなくなった。換気のための窓開けによる騒音拡大など、従来とは違う要件が加わったことから、新ルートの見直しを改めて国や都に求めるべきでは。

◎ ②新ルートはほぼ区内通過となっているため、騒音対策は一施設だけでは不十分であり、学校や病院等の防音対策の拡充を国に求めるとともに、区としても対策を考えるべきでは。

◎ ③新ルート実施後に届いている区民の声の内容は。また、国に対し、今後も区民への説明会継続を働きかけるよう求める。

答 ①一時的に減便しているが、羽田空港の機能強化のために増便は必要だと考えており、現時点で新ルートの見直しを求める考えはない。これまでも海上ルートの活用による騒音低減等を求めており、引き続き国に要望する。

②国の責任において適切に行われるべき。
③区への問合せは6件あり、騒音に関する内容が多い。運用開始後も住民説明会が必要と考えており、繰り返し国に開催を求めていく。

問 学校再開にあたっての学校教育について。
①スクールカウンセラーを増員し、児童・生徒の面接、子どもの実態に応じた学習内容の精選など、無理なく学習を進める工夫等を求める。

②就学援助の拡充について、コロナ禍による収入減世帯への就学援助適用の徹底、休校中の給食費3か月分の支給、就学援助受給世帯の中学3年生への高校入学準備金の支給を。

③「3密」を避けるためには少人数学級の実施が必要であり、国と都に実施を求めるべき。また、区独自に教員を採用し、少人数授業を拡充すべきと考える。

④今後の感染拡大防止のため、養護教諭の複数配置、清掃・消毒・給食配膳などの支援員配置を進めるべきでは。

⑤オンライン学習にあたって、費用の無償化をはじめ子どもの学習環境に格差が生まれぬ配慮、教員へのサポート、ICT支援員配置を。

答 ①スクールカウンセラーの増員については、現在、東京都と調整を行っている。また、学習内容が子どもたちに確実に定着するよう、無理なく丁寧な指導を行っていききたい。

②新型コロナウイルス感染症の影響による特例措置は周知徹底に努める。また、休校中の昼食代の補助や高校入学準備金については、制度の趣旨に沿わないと考えている。

③校長先生を中心に、全職員が感染防止策に全力で当たっている。少人数学級実施のための国や都への要請や教員の配置は考えていない。

④養護教諭について、東京都の基準を超える配置は考えていない。また、支援員の配置については、現在調整している。

⑤通信費については、各家庭に負担が生じないようにする。また、ICT支援員配置の拡充により、教員の負担軽減と支援に努める。

家賃支援給付、ハラスメント、里親、施設退所後支援



生活者ネットワーク・立憲民主党
本西 みつえ



問 新型コロナウイルス対策で、区独自のテナント事業者への家賃支援給付制度の構築を。

答 区はこれまで国や都の施策の対象とならない事業者への支援を展開している。

問 ハラスメント防止対策について。

①相談窓口へ外部の第三者機関の起用を。
②防止委員会へ外部の専門家の起用を。
③学校職員の相談窓口にも専門家の登用を。

答 ①②区政会館に23区全体の相談窓口があり、区では産業医等が関わっている。

③東京都人材支援事業団の相談室を紹介しており、本区の教育委員会では、法務担当副参事から専門的なアドバイスを受けられる。

問 子育て・子育てを見守る地域をつくるために。

①里親を増やす取り組みと支援体制は。

②乳児院の状況と地域との関わりについては。

③週末里親と養育里親を併せた周知・募集を。

④親子丸ごと里親という新しい形の可能性は。

答 ①フォスタリング機関と連携していく。

②現在の入所者の4割弱が本区からの受け入れであり、ボランティアは今後募る予定である。

③既に実施を予定している。

④18歳以上の母子は児童福祉法適用外、母子生活支援施設等で対応する。

問 施設や里親家庭を出て、社会で立ち立つまでの退所後支援施設の設置を。

①アフターケアをどのように考えているか。

②自立援助ホームのような施設の誘致を。

答 ①区の特性を生かし施策を組み立てたい。

②賛同いただける法人と連携を進めたい。

瑞江葬儀所の煙やの改善と地域との共生



えどがわ区民の会
神尾 てるあき



問 新型コロナウイルス感染症の拡大により、放課後等デイサービスの利用ニーズが増加しているが、利用者負担額に対する補助制度の早期実現について、区長の考えは。

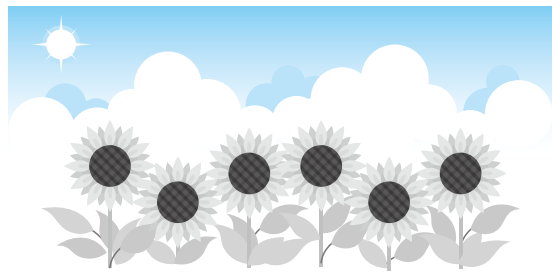
答 東京都が補助主体となる制度であるため、制度ができ次第すぐにやりたいと思っているが、7月になっても東京都がやらなかった場合は区が実施する。

問 足こぎ車いすCOGYについての認識は。また、今後の活用の可能性についての考えは。

答 まだ社会全体で認知されておらず、理学療法や作業療法の一環としての利用が多いと思われる。使用に当たっては専門家の判断が必要であり、しばらく様子を見ていきたい。

問 瑞江葬儀所の煙やの改善について、どのように認識しているか。また今後、瑞江葬儀所と地域との共生について、区長の考えは。

答 黒煙の問題は、昨年から今年にかけて改修を行っている。施設の老朽化については東京都が大規模な改修計画を予定しており、地元への丁寧な説明を要請するとともに、地域の声をしっかり届けていきたい。



本区のコロナ対策と学校教育のICT化について



自由民主党
栗原 ゆたか



問 本区において学校ICTが整備された後、どのような授業を行っていくのか。また、その際に教育のICTリテラシーをどのように向上させていくのか。

答 動画や音声等の活用により子どもたちの興味・関心を高めるとともに、自分のペースに合った学習や、学び合い教え合うことのできる環境整備により、学ぶ力を最大限に引き出していき

たい。また、再び休校となった際の学びの保障としての期待も高まっているが、効果的な授業のあり方を研究していく必要がある。ICTリテラシーの向上については、子どもたちには発達段階に応じた適切な活用方法を身に付けてもらい、教員には効果的な指導に向けた研修を行うなど、必要な支援を行っていく。

問 メトロセブン構想の現状と今後の検討について、加えて、臨海連携軸をより実のある形で実現するため、隣接自治体や東京都との更なる連携強化をどう考えているのか。また、現在のバス運転手不足という時代に応じたコミュニティ交通の方向性について、区長の考えは。

答 平成28年4月の交通政策審議会の答申にて示された4つの課題のうち、事業費削減と中量軌道システムの検討を現在進めており、今後これらの検討の深度化と優先整備区間の検討を進めていく。臨海連携軸の実現については、今年1月に都や交通事業者等で構成する連絡会議を立ち上げた。今年度は、担当者会議も開催し、具体的な取り組みを検討する。コミュニティ交通の検討については、今年度はタクシー事業者との検討を深め、モデル地区を選定し、地区の方々とも話し合いながら、実証実験の実施に向けた取り組みを進めていく。

問 福祉施設での感染拡大は地域の医療崩壊へとつながる懸念があり、本区においても、訪問診療医によるPCR検査の体制を整備すべきと考えるが、また、これからどのようにして医療と介護の情報連携を進めていくのか。

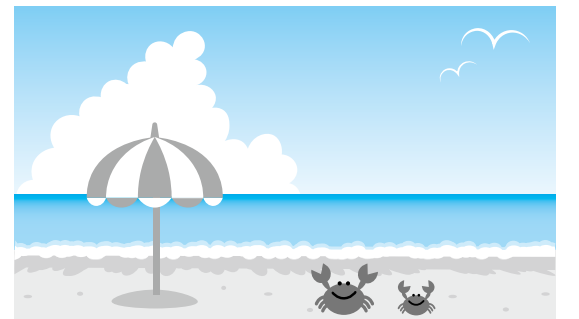
答 施設入所者で医師が必要と判断した場合は、施設医と相談し検査を実施する。また、医療・介護の情報連携については、医療分野での検討が先行しており、介護分野では引き続き検討している。情報の利活用については、介護現場での効率化等に寄与すると期待されており、今後の国の動向を注視していきたい。

問 コロナ禍での生活困窮者に対する雇用支援の推進について、また、生活保護申請者が急増している中、本区においても、生活保護に陥らない取り組みを考えるべきと思うが区長の考えは。

答 本庁内のほっとワークや区内のハローワーク等をしっかりと活用しながら、就労支援を行っていく。また、就労支援をすることで生活保護に陥らないような仕組みを取っていききたい。

問 インターネットによる共助のあり方の重要性が増す一方で、デジタルディバイド(情報格差)の問題が拡大している。デジタルディバイドの解消に向けた取り組みを、行政が支援していくことについて、区長の考えは。

答 インターネット利用率やSNS利用動向等の状況を見極め、区内団体や民間事業の情報も提供しながら、デジタルディバイドの解消に向けて取り組んでいきたい。インターネットを利用できない方については、引き続き広報紙やJ:COM、FMえどがわ等、様々な媒体を通してしっかり情報を伝えていく。



各種委員会の構成

議長…田中寿一

副議長…関根まみ子

委員会名	常任委員会					議会運営委員会 (定数15人)	特別委員会				
	総務 (定数9人)	生活振興環境 (定数9人)	福祉健康 (定数9人)	文教 (定数9人)	建設 (定数8人)		行財政改革・都市戦略 (定数12人)	災害対策・街づくり推進 (定数12人)	熟年者支援 (定数12人)	子育て・教育力向上 (定数12人)	新庁舎建設等検討 (定数12人)
所管事項	経営企画部、新庁舎・大型施設建設推進室、危機管理室、総務部、選挙管理委員会、監査委員に関する事項及び他の委員会に属しない事項	環境部、生活振興部、農業委員会に関する事項	福祉部、子ども家庭部、健康部に関する事項	文化共育部、教育委員会に関する事項	都市開発部、土木部に関する事項	(1)議会の運営に関する事項 (2)議会の会議規則、委員会に関する事項 (3)議長の諮問に関する事項	(1)区の行財政改革に関する事項 (2)都区制度に関する事項 (3)構造改革特区制度に関する事項 (4)ICT化に関する事項 (5)シティプロモーションに関する事項 (6)東京オリンピック・パラリンピックに関する事項 (7)都市交流に関する事項	(1)大規模災害対策に関する事項 (2)木造密集地域解消に関する事項 (3)土地区画整理事業、再開発事業及び都市計画道路の整備促進に関する事項 (4)スーパー堤防の整備促進に関する事項 (5)区内交通体系に関する事項 (6)南北交通の整備に関する事項	(1)健康の維持増進に関する事項 (2)生きがいの場充実にに関する事項 (3)介護支援の充実にに関する事項	(1)子育て力向上に関する事項 (2)健全育成に関する事項 (3)学力向上に関する事項 (4)学校施設改革・学校再編に関する事項 (5)児童虐待防止に関する事項	(1)新庁舎の建設に関する事項 (2)現庁舎跡地の活用に関する事項 (3)公共施設のあり方に関する事項
委員長	高木ひでたか	中山たかひと	所たかひろ	早川和江	太田きみひろ	大西洋平	佐々木ゆういち	栗原ゆたか	竹平ちはる	島村和成	福本みつひろ
副委員長	川瀬やすのり	伊藤てる子	野崎まこと	田中じゅん子	白井正三郎	竹内すすむ	しかくら勇	中津川まさあき	岩田まさかず	大橋みえ子	中道たかし
委員	本西みつえ 栗原ゆたか 中津川まさあき 大西洋平 セバタ勇 中道たかし 竹内すすむ	田島寛之 伊藤ひとみ 竹平ちはる 大橋みえ子 ます秀行 ふじさわ進一 島村和成	間宮由美 佐々木ゆういち 笹本ひさし くぼた龍一 田中寿一 小俣のり子 川口としお	小林あすか よぎ しかくら勇 牧野けんじ 金井しげる 関根まみ子 須賀精二	斉藤つばさ 神尾てるあき 滝沢やすこ 岩田まさかず 堀江そういち 福本みつひろ	小林あすか 本西みつえ 斉藤つばさ しかくら勇 牧野けんじ 佐々木ゆういち 竹平ちはる 栗原ゆたか 中津川まさあき 小俣のり子 伊藤てる子 早川和江 須賀精二	田島寛之 よぎ 白井正三郎 牧野けんじ 太田きみひろ ます秀行 大西洋平 中道たかし 竹内すすむ 須賀精二	田島寛之 小林あすか しかくら勇 牧野けんじ 間宮由美 くぼた龍一 高木ひでたか 田中じゅん子 川瀬やすのり 川口としお	本西みつえ 斉藤つばさ 滝沢やすこ 野崎まこと 中山たかひと 金井しげる 堀江そういち セバタ勇 伊藤てる子 ふじさわ進一	伊藤ひとみ 斉藤つばさ 神尾てるあき 岩田まさかず 所たかひろ 栗原ゆたか 笹本ひさし 田中じゅん子 川瀬やすのり 早川和江	よぎ 白井正三郎 野崎まこと 中山たかひと 金井しげる 笹本ひさし くぼた龍一 小俣のり子 伊藤てる子 竹内すすむ

議会選出監査委員 川口としお 堀江そういち

令和2年第3回定例会開催予定

- 9月17日(木) …… 本会議(議案上程、委員会付託)
- 23日(水) …… 本会議(一般質問)
- 24日(木) …… 本会議(一般質問)
- 28・29日 } 決算審査
- 10月 1・2・5・6・8・12日 }
- 13日(火) …… 常任委員会(議案審査)
- 14日(水) …… 各常任委員会(請願・陳情等の審査)
- 22日(木) …… 本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。
 ※傍聴は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付しています。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

江戸川区選挙管理委員及び補充員の選挙について

令和2年第2回定例会において、江戸川区選挙管理委員及び補充員の選挙が行われ、下記の通り決定しました。

○選挙管理委員

山 崎 求
 芦 田 茂 一
 金 田 建 夫
 中 里 省 三

○補充員

木 又 義 弘
 松 下 幸 博
 菅 野 勇 夫
 河 野 行 博

江戸川区議会会派等別議員一覧

氏名	連絡先	住所
連電	話番	番号
当選	回数	数

【◎幹事長 ☆団長 □幹事長代行 ○副幹事長 △幹事】

【会派内の役職・議席番号順】






区議会 自由民主党
15人
直通(5662)5111
<http://edogawa-jimin.jp/>

 ◎大西洋平 篠崎町2-1-10-305 5664-2024 ③	 ○早川和江 松本1-10-6 5678-0777 ⑤	 ○栗原ゆたか 中央3-5-2 3674-6025 ②	 △須賀精二 江戸川2-8-1 3679-4445 ⑦	 △しかくろ勇 平井7-14-19 3616-5851 ①	 斉藤つばさ 北小岩8-24-6 3672-5849 ①	 白井正三郎 松島3-46-20 6231-4011 ①
 野崎まこと 西葛西6-8-13-2F 3869-8125 ②	 中山たかひと 西瑞江3-36-4 3677-0072 ③	 田中寿一 船堀3-1-3 5679-0413 ④	 福本みつひろ 東葛西8-7-33 3877-0541 ⑤	 高木ひでたか 一之江5-7-17 5661-4608 ⑤	 ふじさわ進一 南小岩6-28-11 3658-0783 ⑤	 川口としお 南葛西6-13-14 3675-5994 ⑦

江戸川区議会 公明党
12人
直通(5662)5112
<http://www.e-komei.com/>

 ☆川瀬やすのり 江戸川1-21-23 5636-5530 ⑥	 ◎竹内すすむ 松江3-14-19 3652-6798 ⑥	 □田中じゅん子 上篠崎3-10-11 6638-7465 ⑥	 □中道たかし 大杉1-1-1-703 5607-0835 ④	 ○伊藤てる子 中葛西5-2-7-309 6903-7742 ④	 ○くぼた龍一 中葛西2-26-10-1005 3686-1939 ④	 島村和成 平井5-51-12 3617-3471 ⑧
 ○竹平ちはる 東小岩1-14-6 5876-7376 ③	 ○佐々木ゆういち 北葛西5-4-15 5605-9262 ③	 所たかひろ 新堀1-13-7 3670-0334 ③	 太田きみひろ 平井6-32-2 6657-2641 ③	 堀江そういち 西小岩2-17-1-603 3658-8597 ④	 関根まみ子 一之江7-11-25 3869-0978 ④	

区議会 江戸川クラブ
5人
直通(5662)0074

 ◎中津川まさあき 南篠崎町1-22-2 3678-1660 ③	 ○岩田まさかず 上篠崎3-9-13 3679-3223 ②	 △ます秀行 南葛西4-21-3-402 6662-7890 ③	 △小林あすか 一之江6-10-24 3651-8300 ①	 笹本ひさし 北小岩6-16-1-2F 5668-2636 ④
--	--	---	--	---

日本共産党 江戸川区議員団
4人
直通(5662)5113
<http://jcp-edogawa.com/>

 ◎小俣のり子 中央2-7-5 3655-4422 ⑤	 ○牧野けんじ 東小岩3-13-9 6331-1791 ②	 △セバタ勇 平井2-17-3 3637-4050 ⑩	 大橋みえ子 中葛西8-6-2 5674-3753 ③
---	---	--	---


生活者ネットワーク・立憲民主党
3人
直通(5662)2752

 ◎本西みつえ 東小松川3-35-13-205 5607-5975 ②	 ○伊藤ひとみ 中葛西3-17-4-702 5607-5975 ②	 ○よぎ 東葛西6-23-11 6676-0941 ①
---	---	--

えどがわ区民の会
2人
直通(5662)5116

 ◎金井しげる 南小岩3-15-20 6657-9897 ③	 ○神尾てるあき 春江町3-32-3 5243-8311 ②
--	--

無所属
直通(5662)0138


間宮由美
松江3-11-15
6231-5200 ⑤

無所属
直通(5662)1589


滝沢やすこ
平井2-24-3
5609-8111 ③

無所属
直通(5662)0139


田島寛之
鹿骨1-38-15
3679-1261 ①

区議会だより編集委員会
(◎委員長 ○副委員長)

◎大西洋平 ○竹内すすむ
中津川まさあき 小俣のり子

「声の区議会だより」をご利用ください

目の不自由な方に、本紙のCD版を発行しています。

ご希望の方は、区議会事務局までお問い合わせください。
(連絡先は欄外に掲載してあります)

また、各図書館で貸出しをしておりますので、ぜひご利用ください。